



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2014

6

Bulletin

2014.6.1発行

第28巻第12号通巻342号

主
題

国際会長 Go Ye Into All The World 全ての世界に出て行こう
アジア会長 Start Future Now 未来を始めよう、今すぐに
西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう
京都部部长 Let us join hands! さあ！手を取り合ってワイズの輪を広げましょう
メネット主任 Let's bring together menettes' power and share the excitement!
メネットパワーを集結し、感動をわかちあいましょう！

聖
句

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。
それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。
エレミヤ書 第29節11章

会長主題

バランスよく協調

クラブに対するメンバー個々の100%の関わりを求めて

会長 三村 良行
副会長 小野 敏明
飯尾 豊
書記 森 伸二郎
会計 蒔田 茂夫
林外会長 三村 和美

進捗月報

評価・計画

6月 例会案内

4日(水) 訪問例会

ウエルクラブの例会に訪問します。
「囲碁の手ほどき」みんなで囲碁とは何ぞやを体験しましょう。

21日(土) 引継例会

三村会長から飯尾会長へとバトンタッチです。
飯尾会長期待を込めて、また三村会長へは、一年間ご苦労さんでしたの思いを込めて、出席しましょう。

例会出席

5月第一例会	13名
5月第二例会	11名
在籍者数	16名
広義会員数	2名
出席率	92.9%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	24,492円

ファンド

	0円
	0円
累計	305,940円

ニコニコ

5月第一例会	6,000円
5月第二例会	0円
累計	41,350円



『 総 括 』

京都プリンスワイズメンズクラブ
第28代会長 三村 良行

今期会長主題を「バランス良く協調」副題に クラブに対するメンバー個々の100%の関わりを求めて を掲げ活動方針事業計画等を立案し1年間運営させていただきました。

この思いは、前期小野会長期に3名の新しいメンバーを迎える事が出来、現状のプリンスクラブに新しい風を吹き込んで頂いたように私を感じたからです。その活気ある雰囲気大切にしながら、現有メンバー全ての方々にクラブ役員をお願いしプリンスクラブが通年行ってきた運営方法や事業活動等を今一度検証して頂きベテランメンバーと半数在籍されるニューメンバーの親睦を第一に考え私も含めたメンバー全員のスキルアップを目指しました。プリンスクラブのいい部分は十分理解して頂き踏襲し、変更していかねばならない事柄はメンバーみんなで今一度考慮いただき次期、今後のプリンスクラブ発展のための1年になればとの思いでした。全てのメンバーに例会、委員会、役員会、三役会と多い方で1カ月間最低5回少ない方でも4回はクラブに関わって頂く時間をいただきました。

メンバー皆様方には会長として言葉では言い尽くせない感謝です。内に秘めたパワーは十分に蓄積できたと思いますので、メンバー獲得に一丸となり次期飯尾会長期、次次期蒔田会長期、そして30周年に向けて楽しく充実したクラブライフを送りましょう。

最後に桂京都部長、事務局、各事業主査の皆様お世話になり有難うございました。

5月第一例会

2014. 5. 7
森 伸二郎



ゴールデンウィーク明けの5月第一例会は、ウエルクラブとの合同例会。自分の体力を過信しないようにということで、「フィットネス企画Q」の代表、山本孝氏をゲストスピーカーにお迎えしました。

2人一組となって向かい合ったり、手を取り合ったり、ちょっと照れくさそうにと、あれやこれやとストレッチや柔軟に挑戦。片足立ちでは、10秒と

立ってられない人もいるかと思えば、年の割には、しぶとく1分以上も粘りに粘る飯尾ワイズ。ヤンヤ！ヤンヤと言いながらのフィットネス例会でした。

続けて30分運動することは大変で長続きしないけれど、一回10分程度の運動を、一日3回やるだけなら、ちょっとした間合いでも運動ができ、それを続けることで、筋肉の衰えは多少なりとも防げるとか。週に一回、1時間以上の運動をするよりも、毎日ちょっとずつの運動を続けてすることが必要だと教えられました。メンバーの体型を見るに、メタボ予備軍とも思える方がちらほら。うまいもんを食べて、うまい酒が飲みたいなら、このフィットネス例会で学んだことを忘れずに実践しましょう。



5月第二例会

かもがわチャリティーラン

2014/5/18
西村 博

5月18日、第10回京都YMCAかもがわチャリティーランが好天に恵まれ鴨川公園河川敷で開催されました。我がプリンスクラブはこの日を5月第2例会の振り替えとし、メン12名、メネット4名(岡西、森、斉藤、小野)、斉藤コメット、斉藤マゴメット、小野コメット総勢21名が参加しました。メン・メネット・コメットと賑々しくテント狭ますと、大活躍です。

毎年恒例の盲導犬協会から今年も出店して頂きました、グッズの売り上げもそこそこあったように伺っております。また、プリンスクラブから毎年行っている盲導犬協会への支援金の贈呈を当日三村会長からして頂きました。

プリンスクラブの今年の出店は、ここ何年か続いているホットドッグです。今年は、あまりにも天気が良いすぎて夏さながらの陽気であったのでホットドッグ売れるかな?とメンバー皆冷や冷やものでした。案の定販売開始定刻の11時になってもお客様は、ほとんど無く、200食も用意したのにどうなることか本当に心配でした。ところが三木ワイズの客寄せコール?!が功を奏し、走り終えた選手が続々買いに来ていただき、心配どころか12時15分位には完売となりました。

チャリティーランの収益金は、心身に障害のある子供たちのキャンプ等のプログラム費用として使われるそうです。今年の総収益金は、300数十万円あったと聞いています。凄いですね!

この京都YMCAチャリティーランの事業が、ワイズメンズクラブの支援の下、未来永劫途切れることなく続き、地域の方々にもワイズメンズクラブの存在や活動をよりよく理解して頂く一端になればどんなに素晴らしい事かと思われま。

最後に、メン、メネット、コメットと一緒に楽しい時間を共有する事ができて本当に良かったと感じました。

めいぷるワイズメンズクラブ30周年記念例会

2014. 5. 11
小野 敏明

去る5月11日（日）、京都めいぷるワイズメンズクラブ30周年記念例会がウェスティン都ホテル京都「山城の間」において盛大に執り行われた。例会参加者は200名を超え、またIBC締結先の韓国や台湾からも30名を超えるワイズメンがめいぷるクラブの30周年を祝いに訪れた。

松村会長の開会点鐘で幕をあけた第一部の記念式典。会長の挨拶に始まり、来賓として神崎総主事、高瀬西日本区理事並びに大野設立準備委員長が挨拶された。続いて30周年記念事業である【宇治リトリートセンターのステージ全面修繕工事】の内容を報告された。老朽化したテントの張り替えはもちろん、その骨組みを組み替えて張り面積を拡張。

また、ステージ土間の塗装、基礎の補修など徹底した修繕をメンバーの肉体奉仕によって完遂したとの内容を発表された。また、社会福祉法人積慶園ならびに西陣会の各サポート先の皆様にも記念事業の一環としてそれぞれ金一封を贈呈されていた。

第二部は、細川佳代子氏を迎えて【インクルージョン～共生社会をめざして～】と題しての記念講演。ご自身が名誉会長を務められている【スペシャルオリンピックス】の話題を中心に、映像を交えながら熱く語って頂いた。

1994年に氏が設立した【スペシャルオリンピックス日本】。知的障がいがある人の自立と社会参加を日常的なスポーツを通して実現するという活動は、今年で20年目を迎えます。活動の輪が広がっている。京都でもymcaが窓口になり更なる広がり期待される。恥ずかしながら、あまりこの活動については無知であったが、今回の講演を拝聴し心を熱くさせられた。

第三部の宴会ではなく、記念祝宴では鏡開きにアトラクション、チャーターメンバーへの記念品贈呈など、趣を凝らしながらの大宴会。めいぷる特製やきそばをメンバーの皆様が各テーブルに配っておられたのが印象に残る。

めいぷるクラブのメンバーの皆様、30周年記念例会おつかれさまでした。今回の周年例会は次の節目へのステップとして捉えて頂き、さらに飛躍しためいぷるクラブの次節を楽しみにしております。

富士山YMCA訪問ツアー報告

2014. 5. 24～25
田中 邦昭

京都YMCA創立125周年記念事業の一つとして、5月24日（土）～5月25日（日）1泊2日の日程で行われました。

富士山の麓朝霧高原の広大な敷地には驚かせられました。正式名称は富士山YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジです。横浜YMCAが運営しており2007年に開館しました。その名の通り宿泊棟の屋根には太陽電池が取り付けられ発電量が本館で表示しています。その目的は「未来の子どもたちのために、100年先を見すえてつくる「YMCAヴィレッジ」です。雄大な富士山を臨む朝霧高原に、キャンプ場として、環境教育、体験学習の学びの場として、青少年の想像力・創造力を育むアートな村として…無限の可能性を秘めた富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ」

横浜YMCAは今年10月18日に130周年を迎えるそうです。特に気がついたのは横浜YMCAは学校法人で運営されており京都YMCAは公益法人であり、この組織形態の違いが活動内容にも影響があるのか無いのか判りませんが気になることです。

プログラムはフィールド活動など東山荘と似ているかもしれません。良い体験が出来たことがワイズ活動に活ければ幸いです。

参加された方々は、在京クラブのワイズメン10人とその家族の方、そして私の友人一人でした。

5月度 役員会報告

報告事項

- 各事業委員会より、この一年間の活動が報告されました。
- 西日本区大会に参加する交通手段は、各自で確保する事となりました。
- 引継例会の開始時刻は午後6時から。

承認された事項

- 引継例会登録費
メン：2,000円 メネット：6,000円
ゲスト：10,000円

6月 スケジュール

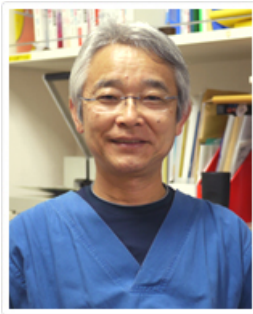
- 4日(水) ウェルクラブ訪問例会
19:00 京都平安ホテル
- 14日(土)～15日(日)
13:00 第17回西日本区大会
シンフォニアいわくに
- 19日(木) 三役会
19:30 廣井事務所
- 21日(土) 引継例会
18:00 グランドプリンスホテル
- 25日(水) 役員会
19:00 京都YMCA

6月

- 3日 田中 邦昭
- 30日 荒木 利彦

<編集後記>

原稿を頂いた皆様、ありがとうございました。おかげで、西日本区大会では理事表彰され、心より感謝です。少しでも、ワイズの楽しみ方を紹介出来たかなと、思っています。



熊本むさしクラブ
田上 正

ワイズに入会して23年2ヵ月を振り返る

1990年10月に2年間の米国留学から帰国した。その間、本間立夫・恵美子さんご夫妻が主催されていたニューヨーク・フロストバレーYMCAのキャンプに子どもたちが参加したことでYMCAのファンになった。熊本にYMCAと関係の深い社会奉仕クラブがあることを知り、菅正康ワイズの紹介でその年の12月熊本ジェーンズワイズメンズクラブのクリスマス例会に家族で参加した、翌1991年3月に念願の入会を果たした。奥さんをメネット、子どもをコメットと呼び、理解できないワイズ用語を当然のように使う先輩たちが眩しかった。同世代のメンバーが多く、クラブの行事や例会後の二次会にも積極的に参加した。いつの間にか九州部の

EMC主査や解散した大分クラブの設立準備委員長の役も承った。代々木の青少年教育センター？や六甲YMCAであった次期役員研修会や次期会長研修会に参加し、ワイズの先輩たちと知り合いワイズの奥深さを学んでいった。

ジェーンズクラブの第10代会長を受け、その後熊本むさしクラブのチャーターメンバーになった。熊本YMCAでも常議員や常議員会議長を、その後理事や理事長を務めた。当にYMCAの人であることに疑問はなく、これがもう一つの人生だろうと思った。広島以西のYMCAで構成する常議員の研修会や、韓国大邱YMCAとの役員交流会、東山荘で開催される日本YMCA同盟の会議など、多くの学びの機会を持つことができた。

ワイズでは、九州部部长を務め、EMC2000推進委員会やクリスチャニティー特別委員会に参加した。メネットがメネット事業主任として西日本区の役員となった時は、「妻主任ぼくは当然カバン持ち」で各部会に参加した。熊本むさしクラブ10代目の会長を務め、その期に「最優秀クラブ賞」の荣誉に与った。これがワイズの醍醐味かなと思った。クラブのイベントの度に入佐孝三ワイズが脚本を手掛ける「むさし劇団」では、主役（脇役なのに目立ったから主役？）も多く経験した。

2011年、運命の糸が自分を東京に招いた。地方中核病院のバリバリの臨床医師（病院幹部でもあった）が、東京医科大学麻酔科臨床教授として学生から若手医師の教育、診療、研究の指導者として転出することになったのだ。東京に赴任して若手の医師たちから学ぶことが多く毎日が新鮮だった。転出時に熊本に住む娘の出産と引き続いてのフルタイムジョブへの復帰、義理母の病气など、再びメネットと二人で新婚生活？のやり直しのはずが単身赴任となった。しかしこれも自分の自立に大いに役立っている。

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区のクリスチャニティー委員会委員長を務めているので、在京のクラブへ転入し辛いですが、機会があればクラブ訪問や卓話をさせてもらっている。役員会や研修会、区大会や部会などへの出席で西日本区の仲間たちとも会える。どこに行ってもワイズのネットワークの中にあり居心地が良い。ワイズのおかげで、もう一つの人生を楽しんでいることに感謝している。

ワイズ談義にご協力いただいた方々

ありがとうございました。

7月号 長尾 亘（宝塚クラブ）
8月号 中島敬泰（京都ウイングクラブ）
9月号 佐藤典子（熊本ジェーンズクラブ）
10月号 清水弘一（仙台青葉城クラブ）
11月号 大野 勉（神戸ポートクラブ）
12月号 井之上温代（滋賀蒲生野クラブ）

1月号 桑田隆明（福山クラブ）
2月号 森田恵三（京都ウエストクラブ）
3月号 森田美都子（京都パレスクラブ）
4月号 石田由美子（宝塚クラブ）
5月号 森本栄三（大阪高槻クラブ）
6月号 田上 正（熊本むさしクラブ）